

7.0型ワイドシステムTV/DVD-A/DVD-V/VCD/CD/チューナー・
5.1ch対応・MP3対応・DSPメインユニット

AVH-P9DVA

取付説明書

本製品はJEITAコードカラーに対応しています。

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外に取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も合わせてご覧ください。



PRINTED WITH
SOY INK

この説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2003

< KMMZF/03E00000 > < CRA3479-A >

作業の進めかた

① はじめに

接続・取り付け部品を確認する — 2ページ
製品の配置例 — 4ページ

② 接続のしかた

接続の前に知ってほしいこと — 5ページ
ノイズフィルターの取り付け — 7ページ
接続端子のなまえと働き — 8ページ
システムの接続 — 10ページ
電源コードの接続 (本体) — 12ページ
スピーカーの接続 1 — 14ページ
スピーカーの接続 2 — 16ページ
電源コードの接続
(ハイダウェイユニット) — 17ページ
ナビゲーションとの接続 — 18ページ
RCA映像/音声入力・出力の接続 — 19ページ

③ 取り付けかた

取り付けの前に知ってほしいこと — 20ページ
ハイダウェイユニットの取り付け — 21ページ
本体の取り付け — 24ページ
リモコンの取り付け — 27ページ
TVアンテナの取り付け — 28ページ

④ 接続・取り付けが終わったら

接続・取り付けが終わったら — 38ページ

接続・取り付け部品を確認する

本体関係



本体 × 1



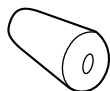
バインドネジ
(5 × 6 mm) × 4



バインドネジ
(4 × 3 mm) × 4



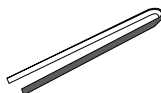
皿ネジ
(5 × 6 mm) × 4



ブッシュ × 1



ネジ × 1



目隠しシール × 1

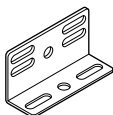


クリーニングクロス
× 1

ハイダウェイユニット関係



ハイダウェイユニット
× 1



取付アングル × 2



マジックテープ
(大) × 2



タッピングネジ
(4 × 12 mm) × 4



座付きネジ
(4 × 8 mm) × 4

リモコン関係



リモコン × 1



リチウム電池
(CR2025) × 1

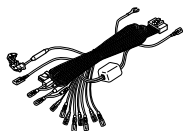


マジックテープ (小)
(かたい方) × 1



マジックテープ (小)
(やわらかい方) × 1

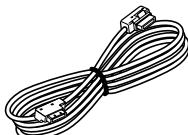
コード関係



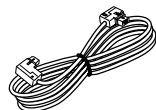
電源コード
(本体用) × 1



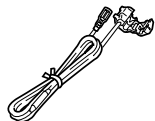
電源コード (ハイダ
ウェイユニット用) × 1



30ピンケーブル
(3 m) × 1



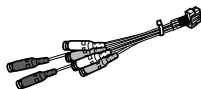
21ピンケーブル
(3 m) × 1



紫リード線延長
コード (8 m) × 1



アンテナ延長
ケーブル (3 m) × 1



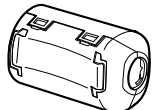
RCA出力コード × 1



マイク × 1



結束バンド × 8



ノイズフィルター
(大) × 5



ノイズフィルター
(小) × 4

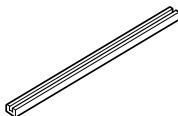
TVアンテナ関係



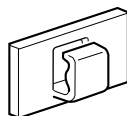
TVアンテナ
右用・左用 各1



クロス × 1



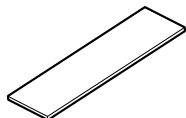
コードレール × 4



クランパー × 6



ガラスクリーナー剤
× 1



塗装保護シート × 2



エレメント固定
ホルダー × 4



六角レンチ × 1

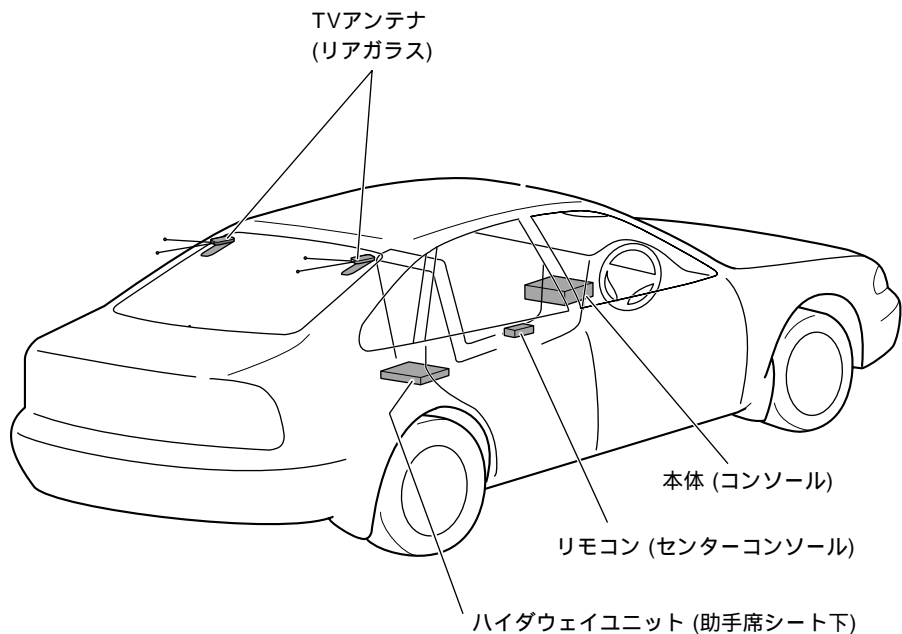
メモ

ブッシュを使用した本体の取り付けを行う場合、本機に付属のネジとブッシュを使用してください。別売の取付キットに同梱のネジ、ブッシュを使用すると、正しく取り付けられないため本機の故障の原因となります。

製品の配置例

下図は、本機の配置例です。

実際は、組み合わせた製品とご自分のお車に合わせて、製品を配置してください。



接続の前に知ってほしいこと

接続上のご注意

本機と他の製品では同じ働きのコードでも色が異なる場合があります。本機と他の製品とを接続される場合、それぞれの製品に付属の取付説明書をよくお読みになり、同じ働きのコードどうしを接続してください。

本機は、エンジンスイッチにACCがない車では使用できません。必ず、エンジンスイッチにACCがある車でご使用ください。

赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。

黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。

本機のアンプにはBPTLという回路を使用しています。スピーカーのリード線を直接アースしたり、複数のスピーカーの（-）リード線を、共通にして接続しないでください。

本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力50W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 から8 のものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。

若草色リード線（パーキングブレーキスイッチ）は、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続してください。接続しないと、テレビやDVDなどの映像を見ることができなくなります。

ガラスアンテナ車は、アンテナブースターの電源を、必ず本機の青リード線（オートアンテナ）に接続してください。接続を忘れるとラジオが受信できません。

アンテナブースターの電源の位置は、車種によって異なります。（ラジオがONにならないと、ブースターがONにならない車もあります。）詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

接続の前に知ってほしいこと

つづき

接続のポイント

ノイズ防止のために

ノイズ防止のため、TVアンテナおよびアンテナコードは、下記のものからできるだけ離して配置してください。

- * 30ピンケーブル
- * 21ピンケーブル
- * 本体
- * FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
- * RGBケーブル
- * IP-BUSケーブル
- * RCAコード
- * 電源コード
- * 車のコードおよび機器類
- * ナビゲーション本体
- * GPSアンテナ

それぞれのコードどうしてもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感度が悪くなります。

RCAコードに何も接続しない場合は、付属のキャップを外さないでください。

30ピンおよびIP-BUSの接続について

30ピンおよびIP-BUSの端子とケーブルは、同じ色どうしを接続してください(コネクタの接続部分が色分けされています)。違う色のコネクタを接続すると、正常に動作しないことがあります。

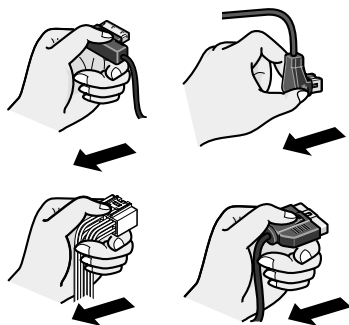
電源配線キットを別売しています

システム全体の消費電流が大きくなると、電圧が不足する場合があります。そのようなときは、バッテリーから直接電源をお取りください。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

コネクタの着脱のしかた

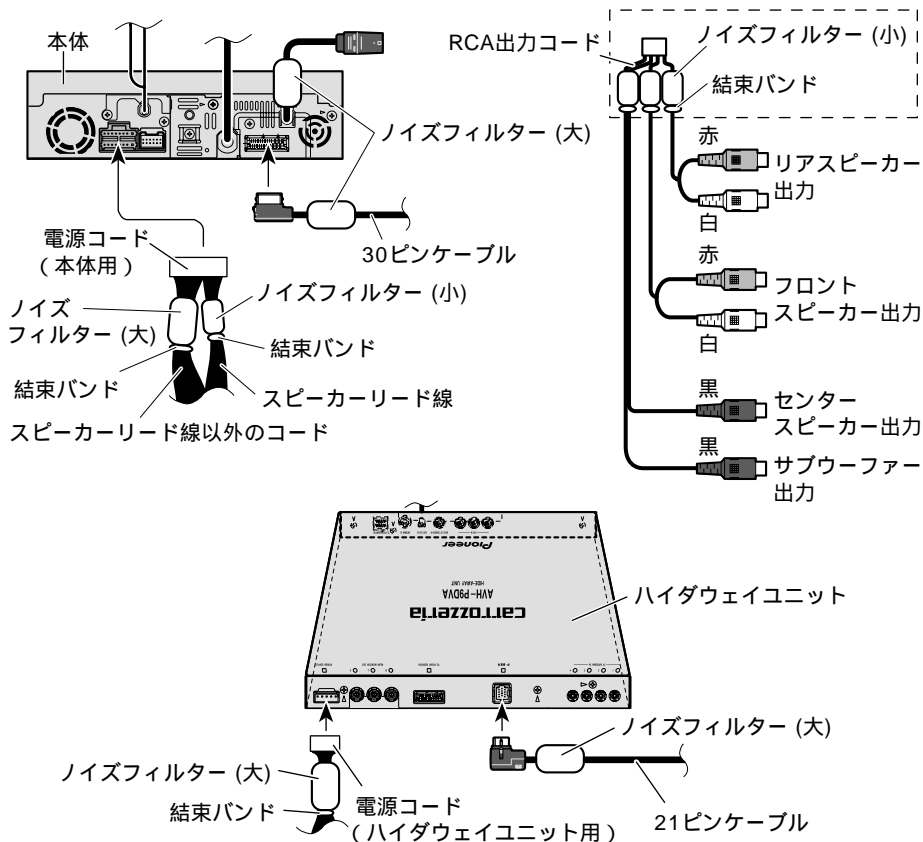
コネクタは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、色が間違っている可能性がありますので、コネクタどうしの色を確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。

コネクタを外すときは、図のようにコネクタ部分を持ってロックを押しながら、引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



ノイズフィルターの取り付け

ノイズを防ぐために、付属のノイズフィルターを取り付けます。



接続のしかた

ノイズフィルター (小) の取り付けかた

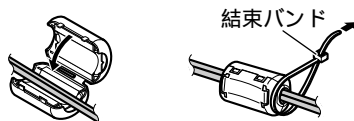


ノイズフィルター
の溝にコード
を束ねて挟みます。



結束バンドをノイズ
フィルターの穴に通
して締め、コードを
固定します。

ノイズフィルター (大) の取り付けかた



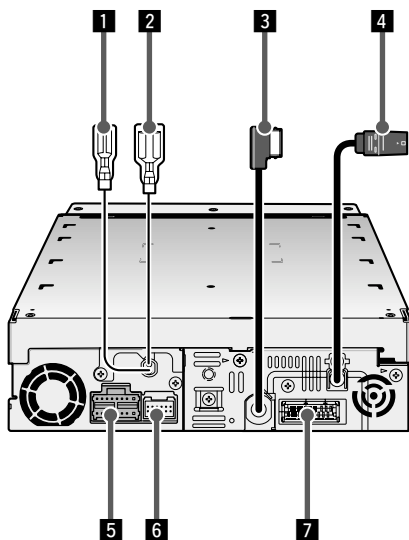
ノイズフィルター
の溝にコードを束
ねて挟みます。



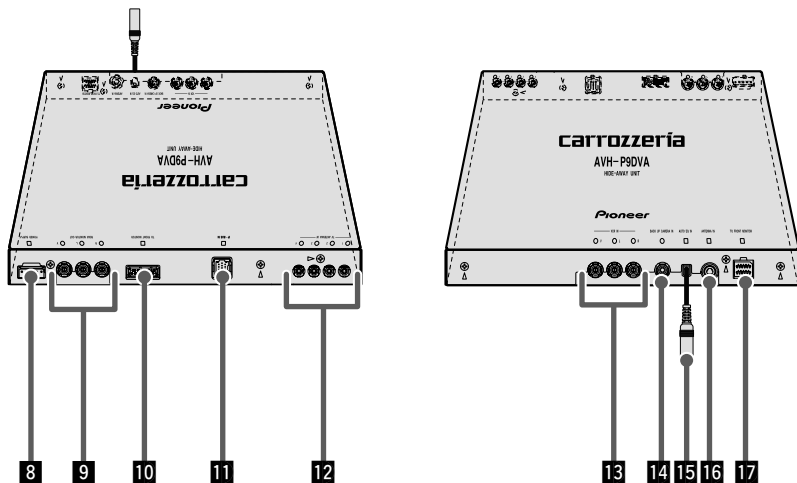
結束バンドを締め
て、コードを固定
します。

接続端子のなまえと働き

本体



ハイダウエイユニット



1 バック信号入力

車の前進/後退を判断するために使用します。「シフトレバーをリバースの位置にしたときに電圧が変化するリード線」に接続してください。

2 オートアンテナ (青) (20 cm)

アンテナをコントロールするために使用します。(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。) 下記以外の場合は、何も接続しないでください。

オートアンテナ車の場合：

車側のオートアンテナのコントロール入力端子に接続してください。

アンテナブースターの電源がある場合：
車側のアンテナブースターの電源入力端子に接続してください。

3 26ピンRGBケーブル (黒)

パイオニア製の26ピンRGB出力付きのHDDナビゲーションに接続します。

4 21ピン入力端子 (黒)

21ピンケーブルで、ハイダウェイユニットと接続します。

5 電源

付属の電源コード (本体用) を接続します。

6 スピーカー出力端子 (RCA)

付属のRCA出力コードを使用して、スピーカーやサブウーファーに接続します。

7 30ピン入力端子 (紫)

30ピンケーブルで、ハイダウェイユニットと接続します。

8 電源

付属の電源コード (ハイダウェイユニット用) を接続します。

9 リアモニター映像出力端子 (黄)/

リアモニター音声出力端子 (白・赤)

リアモニター (後部座席用モニター) 用の信号が出力されます。後部座席に設置するモニターの入力端子と接続してください。それ以外は、何も接続しないでください。

10 30ピン出力端子 (紫)

30ピンケーブルで、本体と接続します。

11 IP-BUS入力 (青)

IP-BUS出力のある製品を接続します。

12 TVアンテナ接続端子1~4

付属のTVアンテナを接続します。1から順に接続してください。

13 映像入力 (黄)/音声入力 (白・赤)

RCA出力付きポータブルビデオなどを接続することができます。

14 バックカメラ入力端子 (黄)

バックカメラを接続します。

15 マイク入力端子

オートコライジングをするときに、付属のマイクを接続します。
(取扱い説明書)

16 アンテナジャック

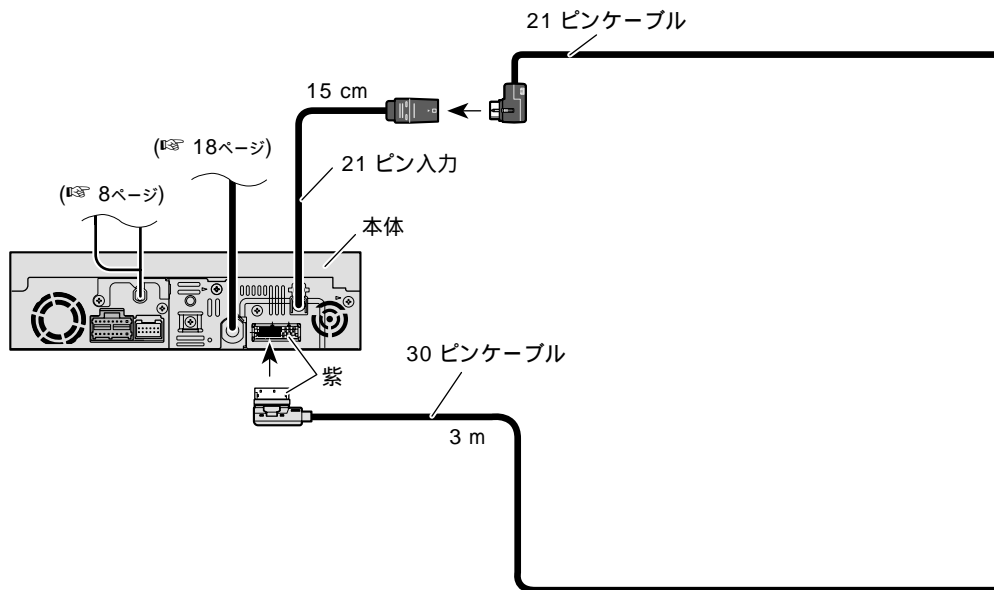
カーアンテナプラグを接続します。

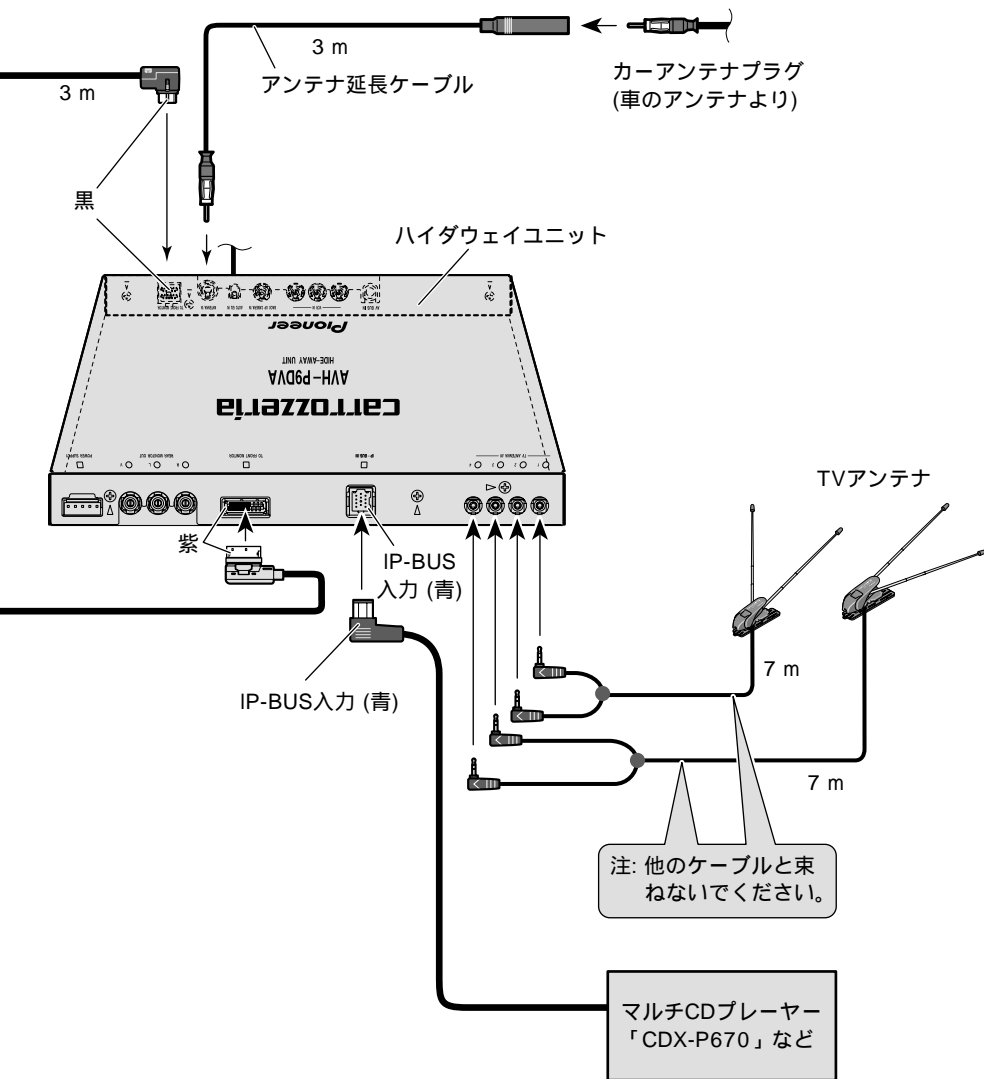
17 21ピン出力端子

21ピンケーブルで、本体と接続します。

システムの接続

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください





電源コードの接続（本体）

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください

注：赤、黄、橙/白リード線は車のヒューズユニットを通した後の端子に接続してください。

注：電源コードの、ヒューズから本体、およびヒューズ抵抗から本体の間に、他の機器のリード線を接続しないでください。

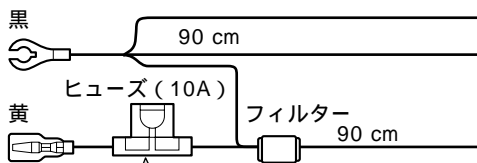
アース
車のボディの金属部に確実に接続してください。

+バッテリー電源
車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

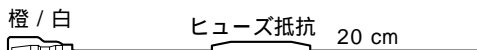
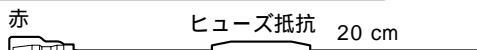
アクセサリ電源
車のエンジンスイッチをACCの位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

イルミ電源
車のライトをONにしたときに電源が供給される電源回路（時計の照明回路やスモールランプ回路など）に接続してください。

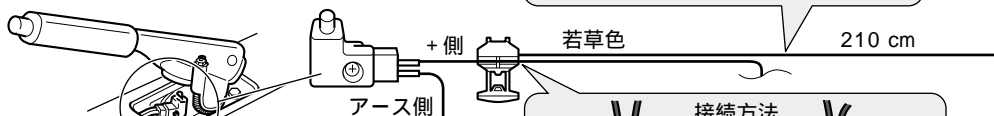
ミュート
パイオニア製のナビゲーションシステムなどの別売製品と組み合わせるときに、本機の音量をコントロールするために使用します。（別売製品からのコントロール信号が入力されると、本機の音量が自動的に変化します。）組み合わせた別売製品に黄/黒リード線（セルラーミュートまたはミュート）がある場合は、そこに接続してください。それ以外は何も接続しないでください。



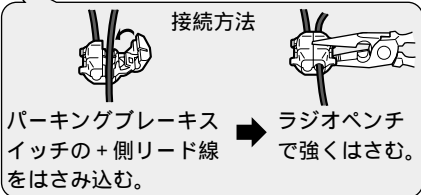
注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

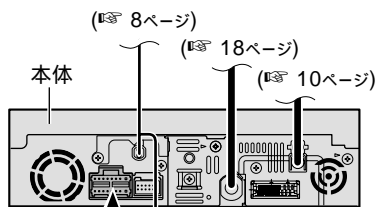


注：このリード線の接続を間違ったり、忘れてしまうと、テレビやDVDなどの映像を見ることができなくなります。



パーキングブレーキスイッチの位置は、車種によって異なります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。





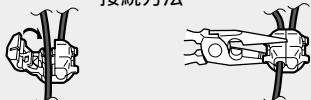
バック信号入力

この接続は車の前進 / 後退を判断するためのものです。バックランプのリード線の「シフトレバーをリバースの位置にしたときに電圧が変化するリード線」に接続してください。

バックカメラを使用する場合は必ず接続してください。接続しないとバックカメラ映像に切り換わりません。

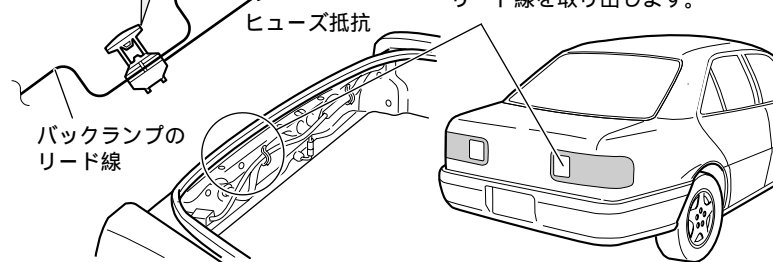
紫/白
8 m

接続方法



バックランプのリード線をはさみ込む。 → ラジオペンチで強くはさむ。

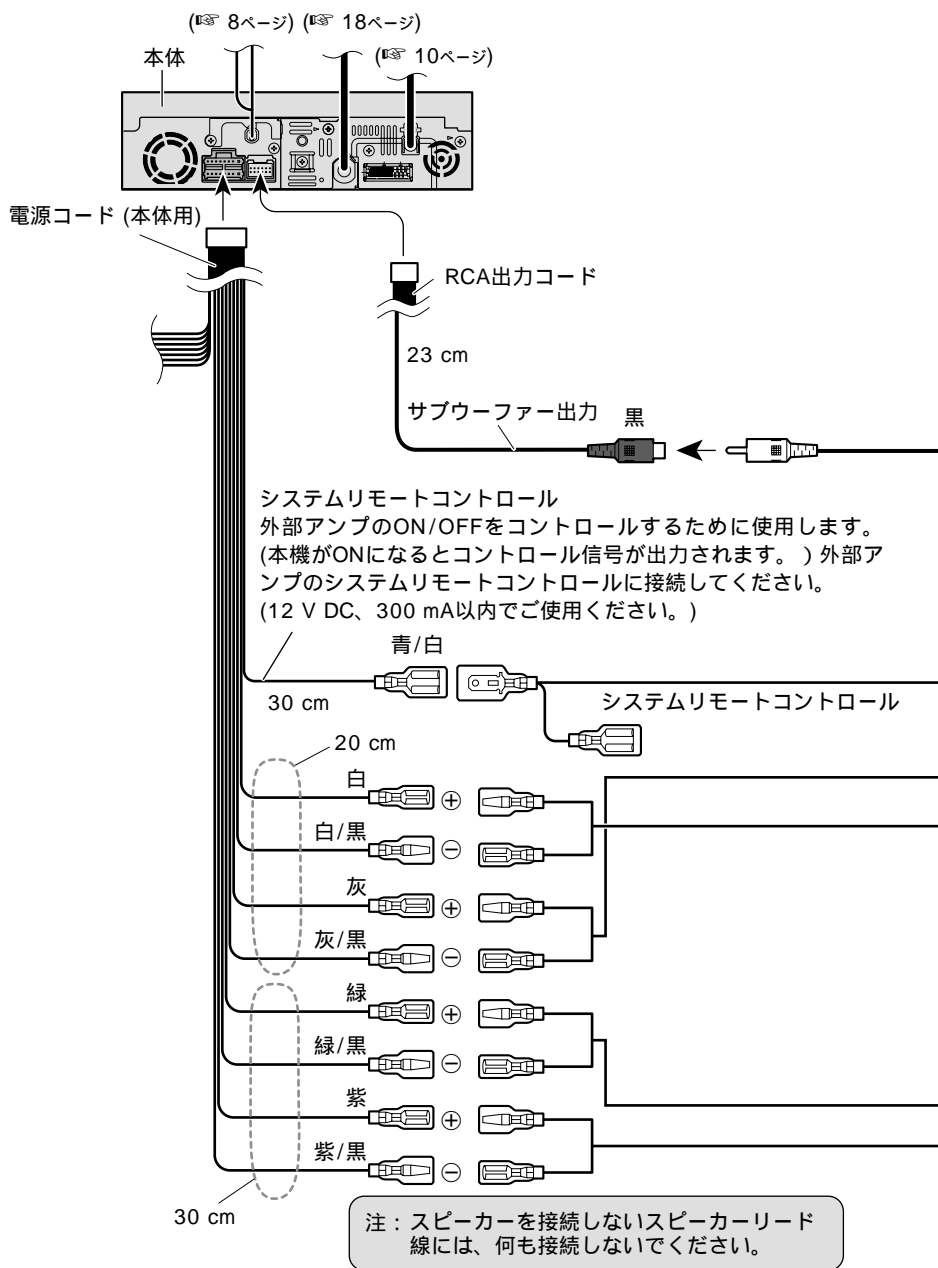
バックランプ (シフトレバーがリバース [R] のときに点灯するランプ) の位置を確認し、トランク内から、バックランプのリード線を取り出します。

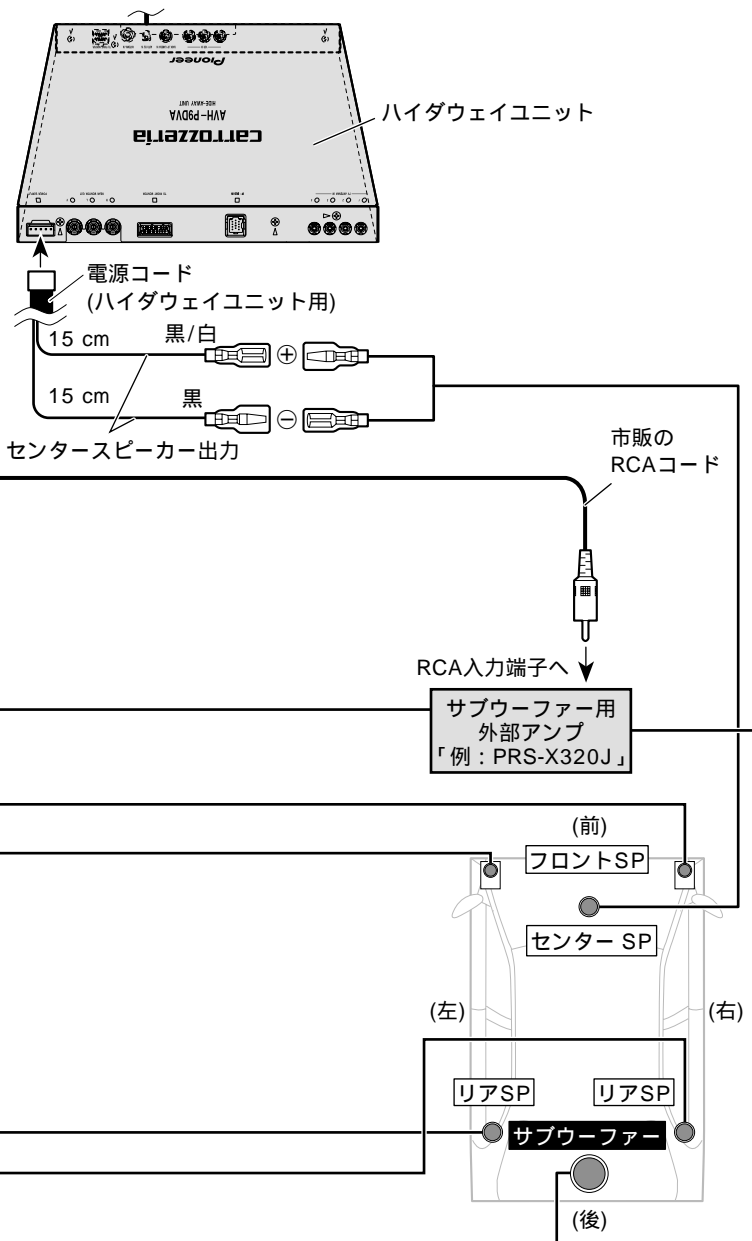


スピーカーリード線の説明は (14ページ)

スピーカーの接続 1

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください

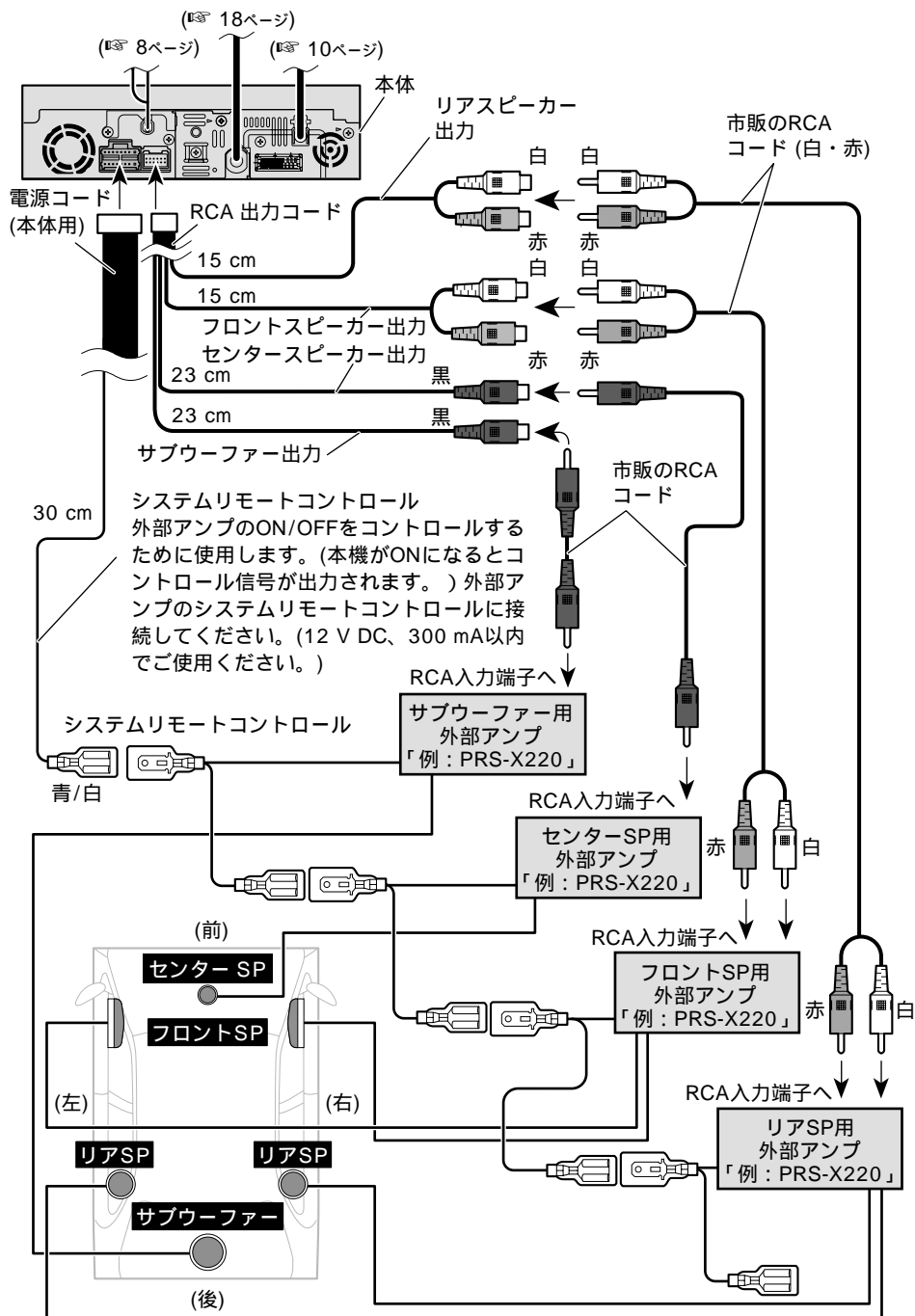




接続のしかた

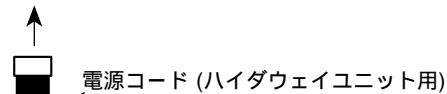
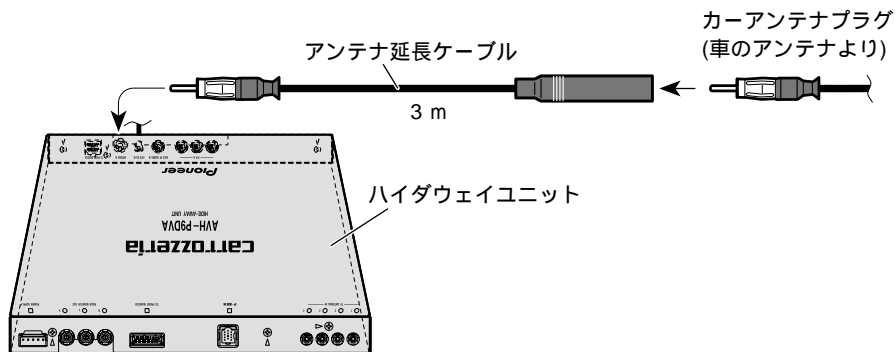
スピーカーの接続 2

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください



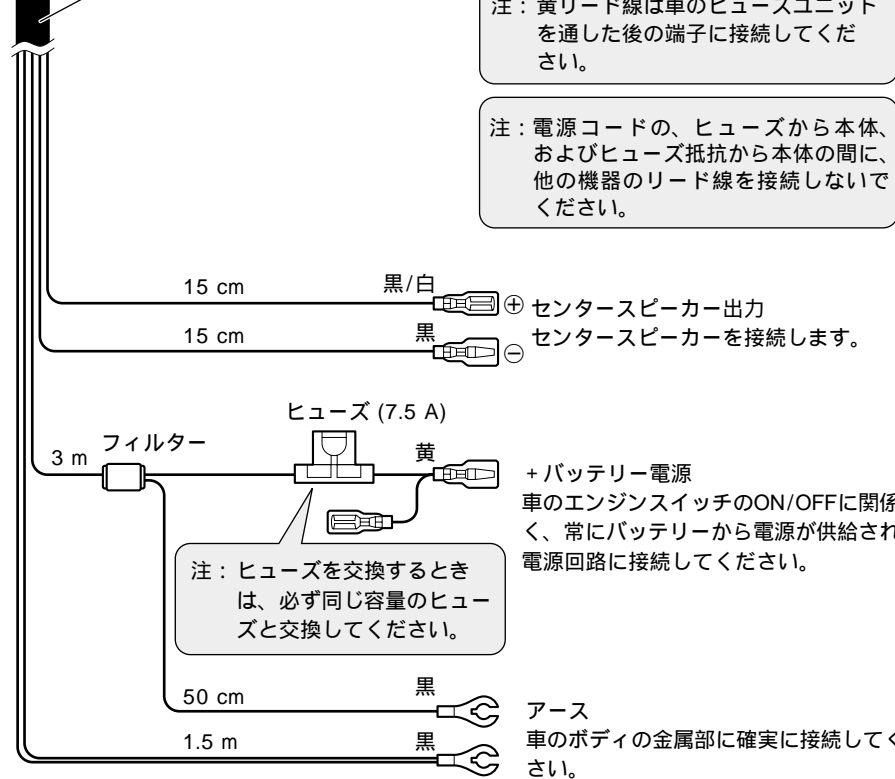
電源コードの接続 (ハイダウェイユニット)

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください



注：黄リード線は車のヒューズユニットを通した後の端子に接続してください。

注：電源コードの、ヒューズから本体、およびヒューズ抵抗から本体の間に、他の機器のリード線を接続しないでください。



注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

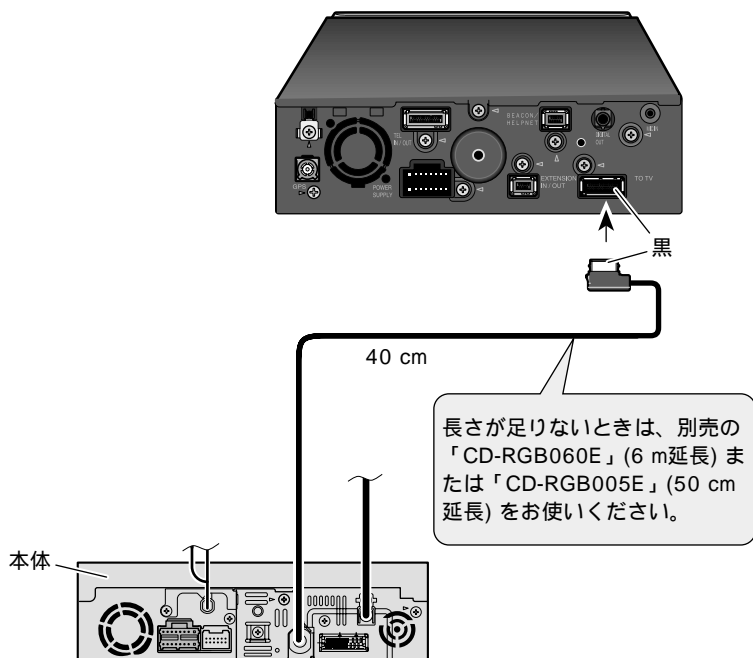
+ バッテリー電源
車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

接続のしかた

ナビゲーションとの接続

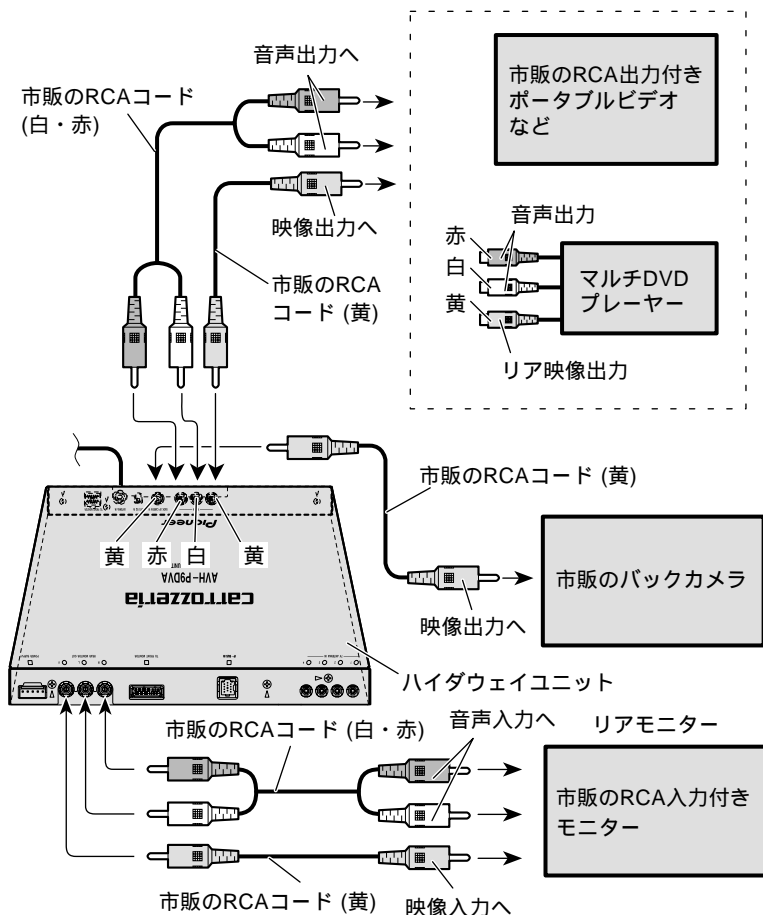
詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください

例：DVD/CDユニット内蔵HDDナビゲーションサーバー「AVIC-H9」



RCA映像/音声入力・出力の接続

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください



接続のしかた



警告

リアモニター出力に接続したモニターを使用する場合



禁止

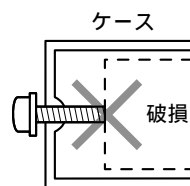
本機のリアモニター出力は、後部座席でテレビやDVDを見るモニターを接続するためのものです。リアモニター出力に接続したモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない位置には、絶対に設置しないでください。

リアモニター出力に、後部座席専用のモニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。リアモニター出力はパーキングブレーキのオン/オフに関係なく映像が出力されます。

取り付けの前に知ってほしいこと

取り付け上のご注意

必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに入れたりして危険です。



取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

取付キットを別売しています

車種や年式によっては、別売のパイオニア製取付キットを使用しないと、取り付けかないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意していますので、販売店にご相談ください。

日産車に取り付ける場合は、車種や年式によって別売の日産車用取付化粧パネル「AD-N980」が必要になることがありますので、販売店にご相談ください。

粘着テープを貼り付ける前に

マジックテープや両面テープを貼り付けるところは、汚れをよくふきとってください。また、両面テープの接着面は指で触れたり、貼り直したりしないでください。接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

ノイズ防止のために

TVアンテナの取り付けのしかたによっては、ラジオ放送に雑音が入る場合があります。TVアンテナは、TVアンテナの取り付け(※28ページ)の説明に従って正しく取り付けてください。

ノイズ防止のため、TVアンテナおよびアンテナコードは、下記の物からできるだけ離して配置してください。

- * 30ピンケーブル
- * 21ピンケーブル
- * 本体
- * FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
- * RGBケーブル
- * IP-BUSケーブル
- * RCAコード
- * 電源コード
- * 車のコードおよび機器類
- * ナビゲーション本体
- * GPSアンテナ

それぞれのコードどうしもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感が悪くなります。

ハイダウェイユニットの取り付け

取り付け上のご注意

次のような場所には絶対に取り付けしないでください。高温により故障する恐れがあります。

- * ダッシュボードやリアトレイの上のように、直射日光の当たる場所。
- * ヒーターの吹き出し口の近く。

本機は冷却効果を高めるため冷却ファンを使用しています。このため、冷却ファンの周辺は十分なスペースをあけて取り付けてください。また、ヒーターの吹き出し口など高温になる場所への取り付けや、カーマットなどで本機全体を覆うなどの取り付けかたは絶対に行わないでください。

ハイダウェイユニット側面



この部分をふさが
ないでください。

ドア近くの雨水がかかりやすい場所には取り付けしないでください。

スペアタイヤボードなど、車の振動で動く場所には絶対に取り付けしないでください。

スペアタイヤ、ジャッキ、工具などの出し入れの邪魔にならない場所を選んで取り付けてください。

ハイダウェイユニットを設置する床面の下部に、マフラー等の高温になるものがあり、床面が熱くなるような場合、保護回路が働き動作停止することがあります。このような場所には取り付けしないでください。

フロントシート下に取り付けるときは、シートのスライドに支障がないように取り付けてください。

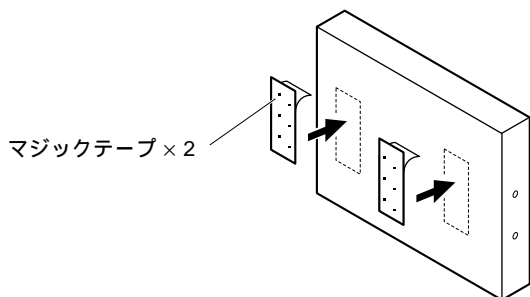
ハイダウェイユニットの取り付け

つづき

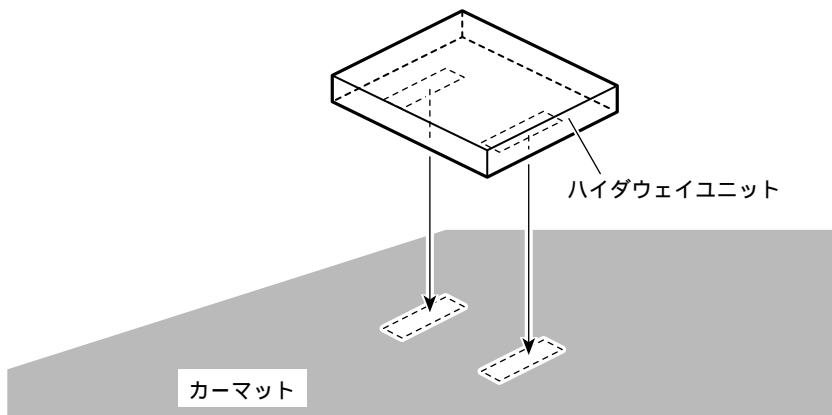
マジックテープでの取り付けかた

1 マジックテープをハイダウェイユニットの底面に貼り付ける

マジックテープを貼り付ける前に、汚れをよくふきとってください。



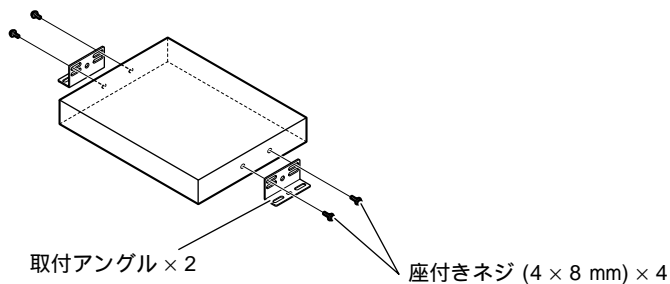
2 カーマットに直接貼り付ける



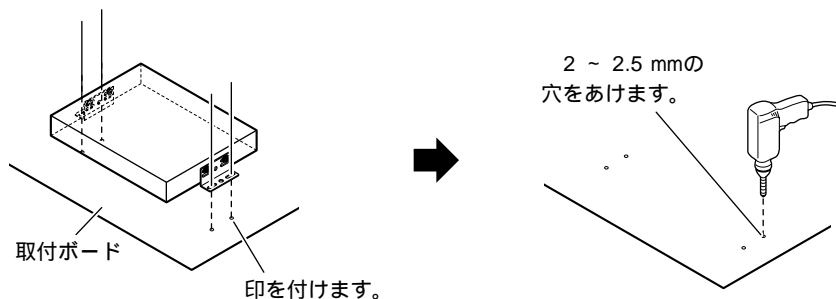
取付アングルでの取り付けかた

1 取付アングルをハイダウェイユニットに取り付ける

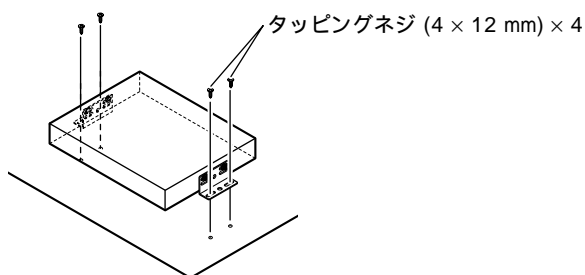
ハイダウェイユニットを車に取り付けるために、取付アングルをハイダウェイユニットに取り付けます。



2 取り付ける位置を決め、穴を開ける



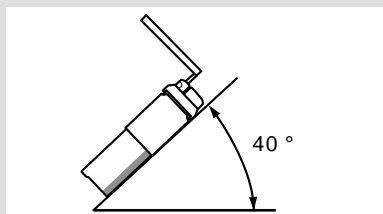
3 タッピングネジで、しっかり固定する



● 本体の取り付け

取り付け上のご注意

本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して40度以内の角度で取り付けてください。

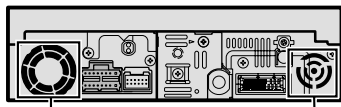


必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず外れたりして危険です。

車種によっては、モニターが立ち上がったときに、車のエアコンなどの操作ボタンを押してしまうことがあります。このようなときは販売店にご相談ください。

放熱を妨げないために、下図の部分をふさがないようにしてください。

本体背面



この部分をふさがないでください。

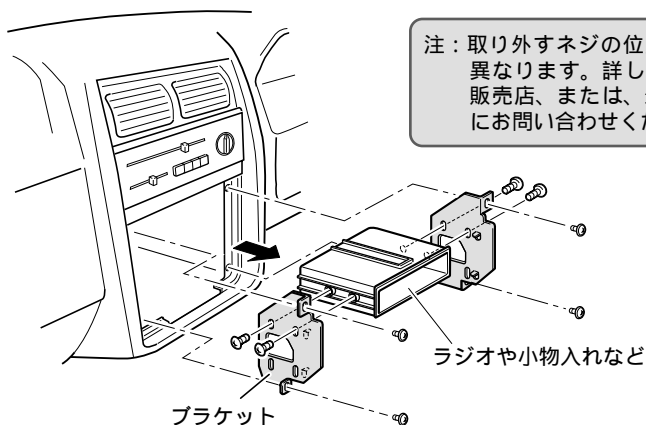
本機とカーステレオを重ねて取り付けるときは、本機を上にして取り付けてください。本機を下に取り付けると、モニターが立ち上がったときに、カーステレオの操作ボタンを隠してしまい、カーステレオの操作の妨げになります。

車種によっては、モニターがコンソールやダッシュボードに当たってしまい、モニターの角度を上向きに調節できない場合があります。

エアバックなどの安全装置装着車の場合は、安全装置の作動に支障のないように取り付けてください。

1 車のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを止めているブラケットを取り外します。そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。



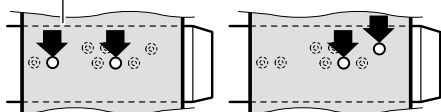
注：取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

2 ネジ止めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。
 ブラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

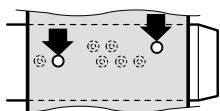
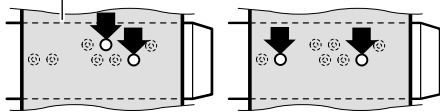
トヨタ車の場合

トヨタ車ブラケット



日産車の場合

日産車ブラケット



取り付けスペースの奥行きが少ない車に取り付ける場合

本機の奥行きは、一般のカーステレオよりもやや長くできています。通常のネジ穴の位置でコンソールに収納できない場合は、使用するネジ穴を後側にずらして取り付ける事も可能です。

例：日産車の場合

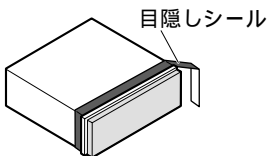
	タイプ 1	タイプ 2
	日産車ブラケット	
通常のネジ穴を使用する場合		
後側のネジ穴を使用する場合		

取り付けスペースの奥行きが少ないなどの理由で「後側のネジ穴を使用する場合」には、加工するなどして、必ず片側2箇所ずつネジ止めしてください。片側1箇所止めの場合、音飛びや故障の原因となります。また、車種によっては窓口パネルの加工なども必要となりますので、商品の取り付けにあたっては、お買い上げの販売店にご相談ください。

本体の取り付け

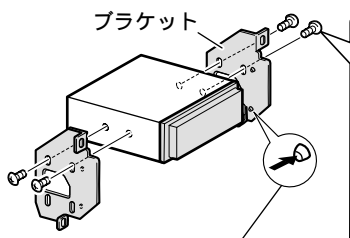
つづき

ネジ穴を後方にずらして取り付けた場合は、付属の目隠しシールを本機前面に取り付けます。



3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ2カ所ずつ、付属のネジでネジ止めして、元通り車に取り付けます。



バインドネジ (5 × 6 mm) × 4	バインドネジ (4 × 3 mm) × 4	皿ネジ (5 × 6 mm) × 4

ブラケットのネジ穴の形状に合わせてネジを選びます。

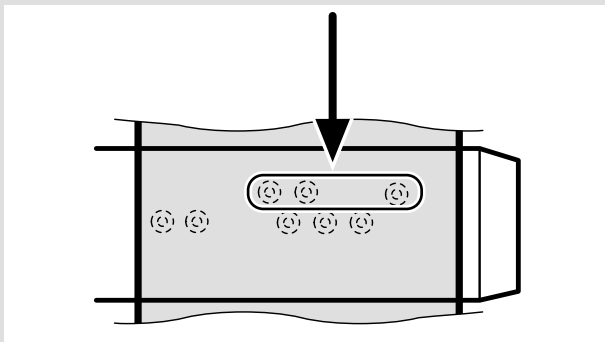
車両側のブラケットの凸部やツメがじゃまになり、浮いてしまう場合は、それらをハンマーなどでつぶす必要があります。

*作業の際には安全に十分ご注意ください。

注：付属のネジ以外は使用しないでください。
付属のネジよりも長いネジを使用すると、本機内部の部品をいためることがあります。

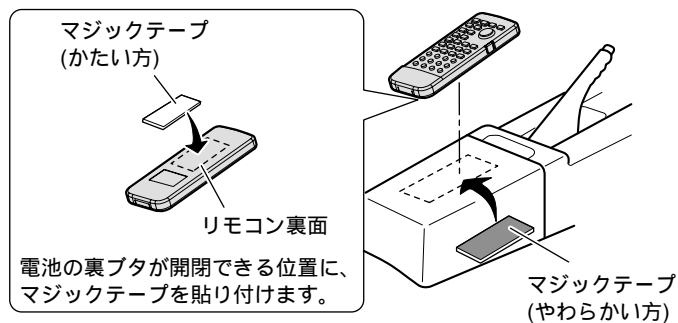
ブラケット取り付け時のご注意

左側、右側、どちらも下記のネジ穴は付属のバインドネジ (4 × 3 mm) を使用してください。



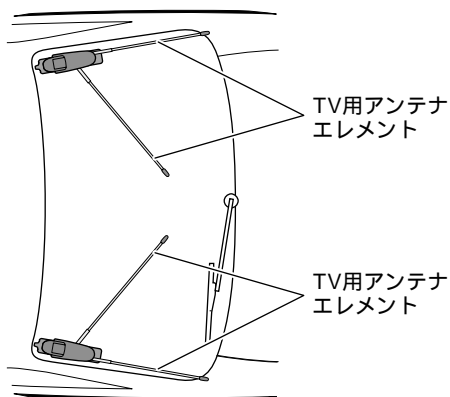
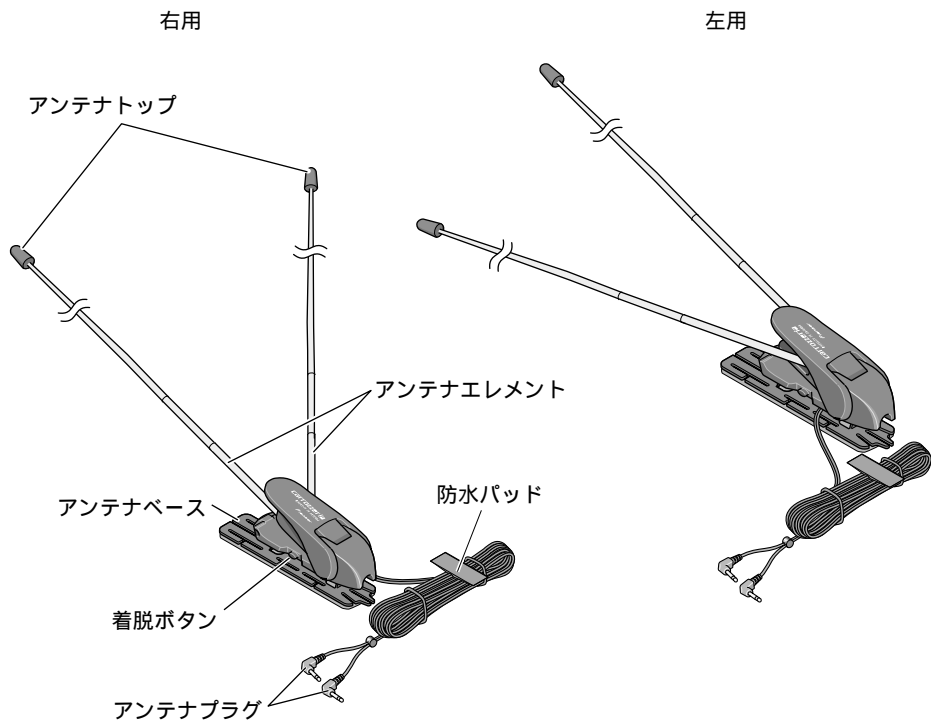
リモコンの取り付け

付属のマジックテープのかたい方をリモコンの裏面に、やわらかい方を取り付け場所に貼り付けます。



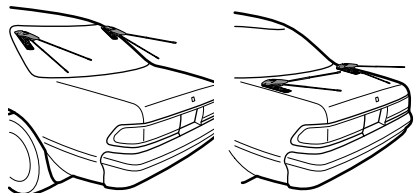
TVアンテナの取り付け

各部のなまえ

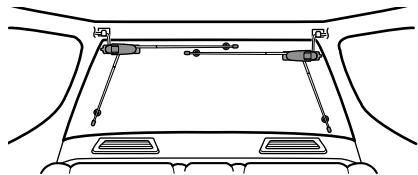


取り付け場所について

アンテナを車室外に取り付けるときは、リアガラスまたはトランクリッドに両面テープで貼り付けます。



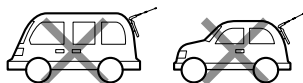
アンテナを車室内に取り付けるときは、リアガラスに両面テープで貼り付けます。



ガラスアンテナや熱線の上には絶対に取り付けしないでください。

アンテナの元素が車幅からはみ出ない場所、また、車の後端より後にはみ出ない場所に取り付けてください。なお、1ボックスカーや2ボックスカーの車室外のリアガラスには、絶対に貼り付けしないでください。

1ボックスカー 2ボックスカー



取り付け上のご注意

アンテナは確実に貼り付け、固定してください。確実に固定しないと、走行中に外れたりする危険性があります。

ガラス面に取り付けるときは、必ず付属のクリーナー剤で、貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを取り除き、乾いたあとにきれいな布でふき取ってください。湿気、油などがあると、接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

車のボディに取り付けるときは、塗装保護シートを必ず使用してください。使用しないと車のボディの塗装をはがす原因となることがあります。

確実に貼り付けるため、取り付けは、天気の良い日中に行ってください。雨や霧の日など湿気の多いときに取り付けると、接着力が弱くなり、はがれやすくなります。気温が低いときにガラス面に取り付けるときは、接着力の低下を防ぐため、両面テープの接着面と取り付け場所を、車内ヒーターやリアデフォグスイッチをONにして暖めておいてください(20℃以上)。

リアガラスアンテナ車の場合は、トランクリッドに取り付けてください。リアガラスに取り付けた場合、本機の電源を入れたままカーステレオでラジオ放送を受信すると、ラジオ放送に雑音が入る場合があります。)

両面テープの接着面は、指で触れたり、貼り直したりしないでください。接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

取り付け後、24時間以内は絶対に水気(水、雨、霧、雪など)に当てないでください。また、高速走行など、アンテナに無理な力が加わるようなことはしないでください。

ナビゲーションと組み合わせる場合のご注意

ナビゲーションに付属の取付説明書もあわせてご覧ください。

TVアンテナの取り付け

つづき

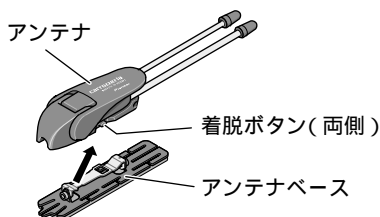
リアガラスに取り付ける場合

トランクを開けたときに、トランクがアンテナのエレメントに当たらない位置（できるだけ高い位置）に取り付けてください。

リアワイパーの可動範囲を確認し、リアワイパーの可動範囲内には絶対に取り付けてないでください。

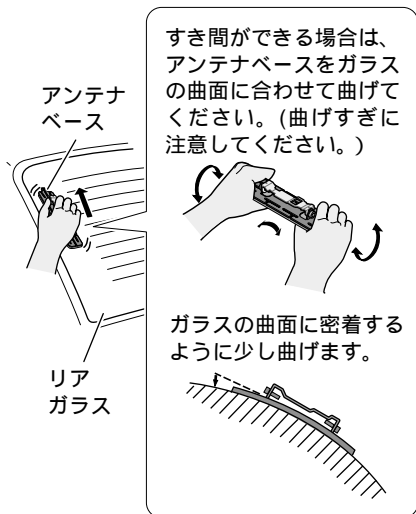
1 アンテナを外す

着脱ボタンを押し、アンテナをアンテナベースから取り外します。（※ 37ページ）



2 アンテナを貼り付ける位置を決める

アンテナベースを、裏側の保護シートをはがさずにガラス面に当て、アンテナベースとガラス面との間に、できるだけすき間のできない位置をさがします。



3 ガラスクリーナー剤で、汚れ、油などを取り除く

- ① 付属のガラスクリーナー剤を、付属のクロスに付け、少し力を入れて拭きます。
- ② クリーナー剤が白く乾いたら、水で洗い流します。
- ③ きれいな乾いた布でから拭きし、水分を完全に取り除きます。

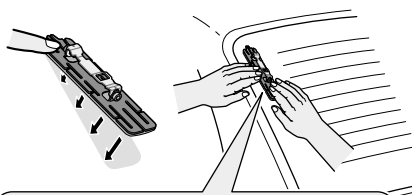


4 気温が低い時はリアガラスを暖める

接着力の低下を防ぐために、車内ヒーターやリアデフォグスイッチをONにして、リアガラスを20℃以上に暖めます。

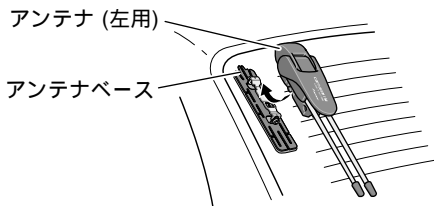
5 アンテナベースをリアガラスに貼り付ける

裏面の保護シートをはがし、先端から徐々に貼り付けます。



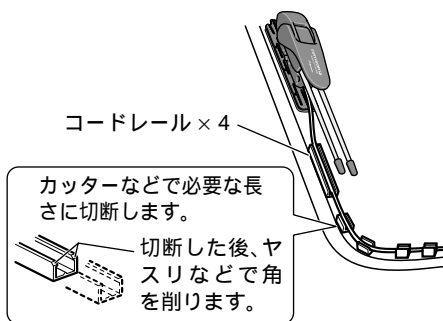
6 アンテナを取り付ける

(※ 37ページ)



7 アンテナコードを固定する

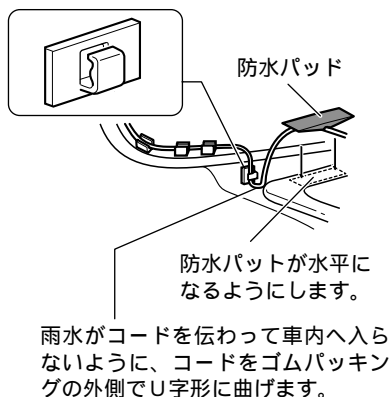
付属のコードレールをリアガラスに貼り付け、コードを固定します。



8 アンテナコードを車内に引き込む

付属のクランパーや防水パッドで、コードを固定します。

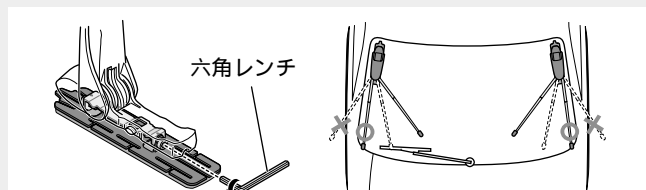
クランパー × 6
クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。



取り付けかた

アンテナの取り付け角度の調節のしかた

アンテナエレメントをのばしたときに、エレメントが車幅からはみ出る場合は、アンテナベースの前後2本の六角穴付きネジをゆるめて、車幅からはみ出ないように取り付け角度を調節してください。



ゆるめたネジは、調節後しっかりと締め直してください。

TVアンテナの取り付け

つづき

トランクリッド(車室外)に取り付ける場合

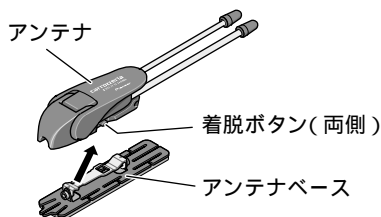
TVアンテナが脱落する危険があるので、フッ素樹脂加工および再塗装された車のボディには貼れません。

トランクを開けたときに、アンテナのエレメントがリアガラスなどに当たらない位置に取り付けてください。

1 アンテナを外す

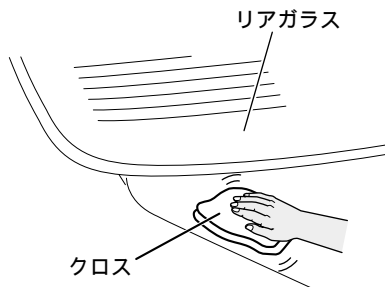
着脱ボタンを押し、アンテナをアンテナベースから取り外します。

(P.37ページ)



2 汚れ、油などを取り除く

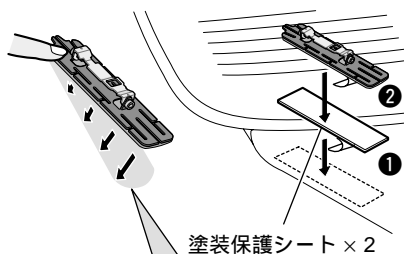
アンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを取り除いてください。



付属のガラスクリーナー剤は、塗装をはがすことがありますので、車のボディには使用しないでください。

3 アンテナベースをトランクリッドに貼り付ける

- ① 塗装保護シートをトランクリッドに貼り付けます。
- ② 塗装保護シートにアンテナベースを貼り付けます。

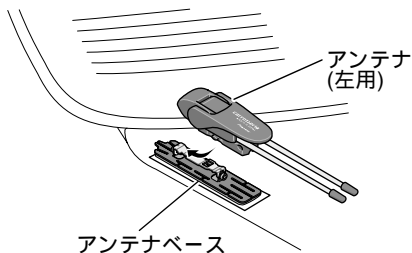


トランクリッドに密着するように、指で強く押しつけてください。

塗装保護シートを必ず使用してください。使用しないと車のボディの塗装をはがす原因となることがあります。

4 アンテナを取り付ける

(P.37ページ)

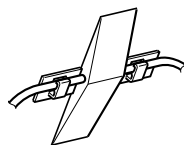


5 アンテナコードを車内に引き込む

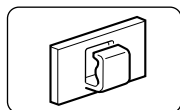
付属のクランパーや防水パッドで、コードを固定します。

雨水がコードを伝わって車内へ入らないように、コードをゴムパッキングの外側でU字形に曲げます。

防水パッド
防水パッドの前後をクランパーで固定します。



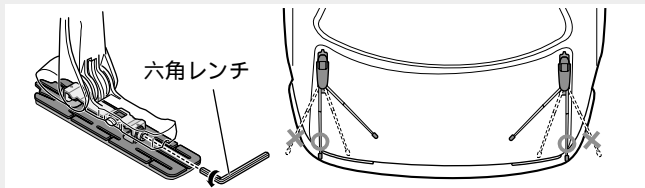
トランクを閉めたとき、ゴムパッキングの上に防水パッドが水平に当たるようにします。



クランパー × 6
クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。

アンテナの取り付け角度の調節のしかた

アンテナエレメントをのぼしたときに、エレメントが車幅からはみ出る場合は、アンテナベースの前後2本の六角穴付きネジをゆるめて、車幅からはみ出ないように取り付け角度を調節してください。



ゆるめたネジは、調節後しっかりと締め直してください。

TVアンテナの取り付け

つぎ

車室内に取り付ける場合

⚠必ずお守りください

エレメントの先端は、必ず付属のホルダーで固定してください。外れた状態でご使用になると、アンテナが脱落したり、エレメントの先端でケガをする場合があります。

設置後は、幼児のいたずらにご注意ください。思わぬケガの原因となる場合があります。

電波の強い地域(首都圏中心部)ではTVアンテナを車室内に取り付けられる場合があります。電波の弱い地域では車室外に取り付けてください。

車室内に取り付けた場合、車室外に取り付けた場合と比較してテレビの映りが悪くなります。テレビの映りが悪い場合はアンテナを車室外に取り付けてください。

TVアンテナの受信状態をできるだけ良くするために、下図のようにリア(リアハッチ)ガラスにTVアンテナを下向きに取り付けることをおすすめします。また、できるだけエレメントをのぼして取り付けてください。

断熱ガラスを使用した車および熱線遮断フィルムを使用した車では、その一部に電波を通しにくい種類のものがあり、受信できないことがあります。お車のガラス、フィルムの種類をお確かめください。

熱線の上には貼り付けないでください。取り外した際に熱線が切れる場合があります。

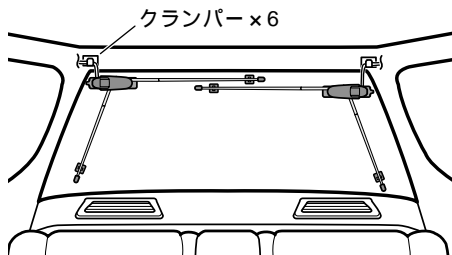
フロントガラスや運転の妨げになるガラスへ取り付けないでください。

車のガラスの大きさや角度により取り付けができない場合があります。アンテナを取り付ける前に確認してください。

取り付けの際は、ガラスの端からアンテナエレメントまでの間隔を20mm以上あけてください。ガラスの端に近づけすぎると、テレビの映りが悪くなる場合があります。

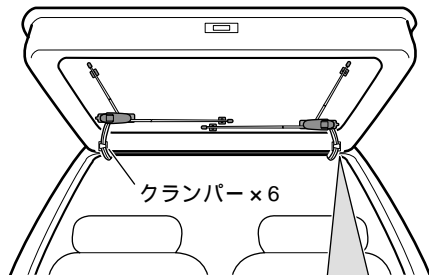
車のラジエーターファンのモーターや、ヒーターのモーターなどからノイズが飛び込み、映像が影響を受ける場合があります。

例1：リアガラスへの取り付け



アンテナをできるだけ高い位置に取り付けると、受信感が良くなります。

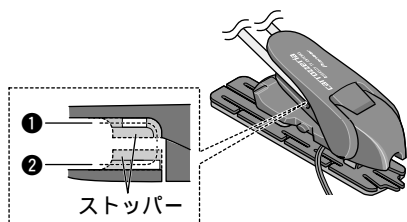
例2：リアハッチガラスへの取り付け



ハッチの開閉の際に、ケーブルが引っ張られたりじゃまにならないように、クランパーを使用して要所を固定してください。

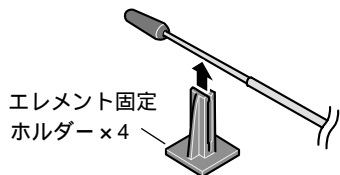
1 ストッパーを切り取る

ニッパーなどで2ヶ所 (①、②) 切断し、ストッパーを切り取ります。



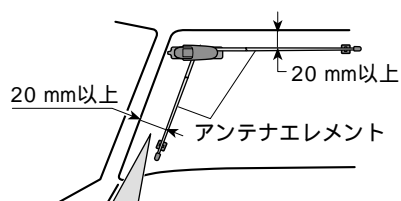
2 エlement固定ホルダーをアンテナに取り付ける

各Elementの先端部にElement固定ホルダーを取り付けます。



3 アンテナを貼り付ける位置を決める

アンテナベースとElement固定ホルダー裏側の保護シートをはがさず、ガラス面に当て、取り付ける位置を決めます。



ガラスの端からアンテナElementまでの間隔を20 mm以上あげてください。ガラスの端に近づきすぎると、性能を十分に発揮できない場合があります。

4 ガラスクリーナー剤で、汚れ、油などを取り除く

- ① 付属のガラスクリーナー剤を、付属のクロスに付け、少し力を入れて拭きます。
- ② クリーナー剤が白く乾いたら、きれいなぬれた布でクリーナー剤を良くふき取ります。
- ③ きれいな乾いた布でから拭きし、水分を完全に取り除きます。

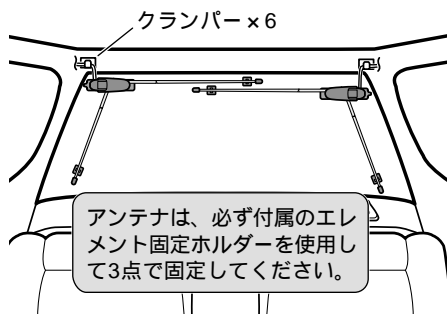


5 気温が低いときはリアガラスを暖める

接着力の低下を防ぐために、車内ヒーターやリアデフォグスイッチをONにして、リアガラスを20 以上に暖めます。

6 アンテナを取り付ける

アンテナベースとElement固定ホルダー裏面の保護シートをはがし、アンテナを固定します。次に付属のクランパーを使用して、アンテナケーブルを固定します。(前ページ)

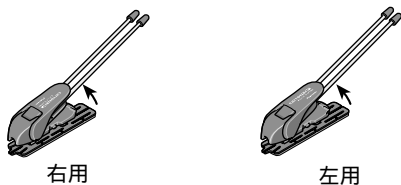


TVアンテナの取り付け

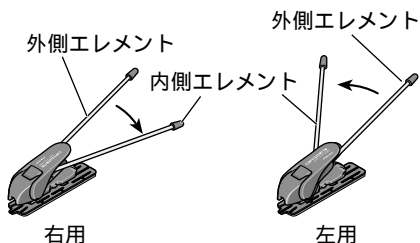
つづき

アンテナの使いかた

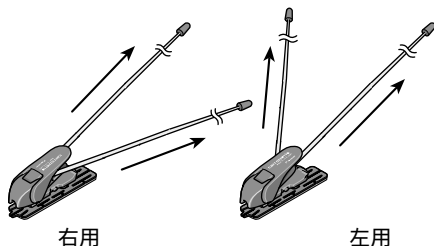
1 アンテナを起こす



2 内側エレメントを横にずらす

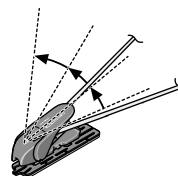


3 アンテナエレメントを いっぱいにはばす



4 アンテナ角度を調節する

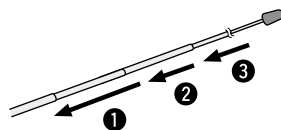
アンテナ本体の角度は、4段階に設定できません。受信感度の良い角度に調節してください。



水平よりやや上向きに調節してください。

アンテナエレメントを収納 する際のご注意

エレメントの太い部分から順に収納してください。先端は細くなっていますので、ていねいに扱ってください。

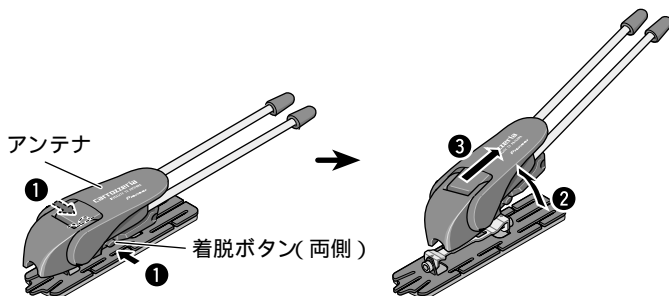


アンテナの着脱のしかた

自動洗車機で洗車するときや、長時間駐車する場合は、アンテナを取り外し、トランク内に収納してください。

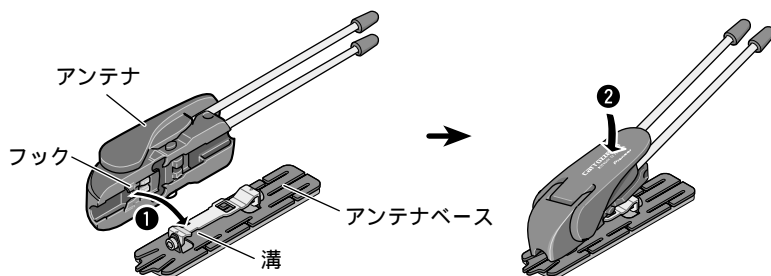
アンテナの外しかた

- 1 着脱ボタン(両側)を押しながら、
- 2 アンテナの後部を少し持ち上げ、
- 3 矢印の方向に引き抜きます。



アンテナの取り付けかた

- 1 アンテナベースの前側の溝に、アンテナの前側のフックを挿入します。
- 2 アンテナの後部を矢印方向に押し、ロックさせます。(“カチッ”と音がすることを確認してください。)



アンテナの取り扱い上のご注意

アンテナおよびアンテナコードは、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品でふかないでください。表面が侵されることがあります。

エレメントにゴミや汚れが付着し、スムーズに伸縮しなくなった場合は、ねり状ワックスなどでエレメントの金属部分をみがいでください。

アンテナのエレメントにアクセサリなどの飾りを付けしないでください。無理な力がかかると、エレメントが折れ曲がったり、アンテナが脱落する恐れがあります。

接続・取り付けが終わったら

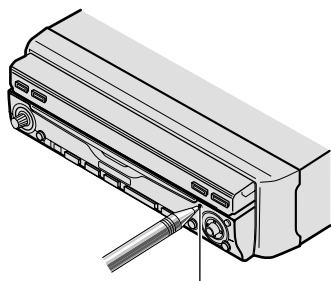
接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取り付けを もう一度確認する

確認

接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度、目で見て確認してください。

2 ボールペンの先などで リセットボタンを押す



リセットボタン

3 車のエンジンをかける



4 本機の動作を確認する (取扱説明書)

接続・取り付けが終わったら

